



市内20カ所に設置された「あんしん給水栓」(写真左)は、水道管破損時の応急給水拠点です。比較的破損しにくい大口径の大阪広域水道企業団の水道管から直接飲料水を取り出せます。

あんしん給水栓

「日ごろから訓練を重ねて、災害時にスムーズに組み立てられるようにしています。」



組立式給水タンク

組立式給水タンク(写真下)は、給水車などから届けられた水を一時的に保管できるため、避難所での利用を想定しています。

Q 災害発生時にどうやって「水」を確保するの？

災害は待ったなしで、いつでも起こるもの。いざという時に「水」を確保する取り組みを紹介します。

さまざまな市町村などと応援協定を結んでいます。市内の断水が広範囲に及んだ際には、この協定に基づき、応援を要請します。

能登半島地震では摂津市からも応援活動に参加し、地域間連携の成果を発揮しました。

こうした広域連携は日ごろから合同訓練で体制を強化しています。

Q 災害が発生して市域全体で断水したらどうするの？



給水車を使った訓練(写真上)と1袋で6リットル入る給水袋(写真右)

給水車と給水袋

避難所などに水を届けるための給水車を配備し、迅速に対応できるように、定期的に訓練を実施しています。さらに、持ち運びに便利なリュックタイプの給水袋も備蓄しています。

▽能登半島地震で応援活動に参加(石川県能登町、令和6年3月)



△応援協定先のひとつである「吹田市」と給水訓練を実施(吹田市、令和7年1月)

災害時応援協定先

- ▷日本水道協会関西地方支部
- ▷大阪広域水道企業団
- ▷大阪府及び府内の全市町村
- ▷北大阪上水道協議会
- ▷株式会社ファノバ
- ▷ヴェオリア・ジェネッツ株式会社関西支店

もしも！に備えて飲料水の備蓄をひとり1日3ℓ×3日分



4人家族の場合

2ℓを18本

3リットル×家族人数×最低3日分の飲料水を備蓄しましょう。



市では、災害時の応急給水で市民に配布することを目的として、飲料水を備蓄しています(写真左)。賞味期限近の水はイベントで啓発品として配布するなど、ローリングストックに努めています。

とは言え、市で備蓄している飲料水だけでは市民全員分は到底まかなえません。各家庭においても1日3リットル×家族人数×最低3日分の飲料水を備蓄しましょう。

Q 市で水を備蓄しているのに家庭でも必要かな？

市では、災害時の応急給水で市民に配布することを目的として、飲料水を備蓄しています(写真左)。賞味期限近の水はイベントで啓発品として配布するなど、ローリングストックに努めています。

／教えて／ 摂津市の上下水道事情

災害
対策編

毎日、蛇口をひねると安全な水が使える日常。この「あたりまえ」を守るため、もしもの時の備えが大切です。ここでは、市が進める上水道の災害対策の取り組みについて紹介します。 問合せ 経営企画課 ☎06(6383)7632へ



地震時に水を守る「緊急遮断弁」(写真下)が配水池に設置されているほか、非常用発電機を完備。落雷による停電が発生してもポンプを稼働し続け、水の供給が途絶えないようにしています。



通常時(全開)と地震時(全閉)

中央送水所1号配水池は、令和3年に、より地震にも強く、維持管理コストを削減できるステンレス構造に更新しました。

非常用設備で備える

市内には7カ所の配水池があります。これらは各エリアに水を効率的に届けるだけでなく、災害時に重要な役割も果たします。常に一定量の水を貯めている配水池は、万が一の際、市民の約7日分の応急給水量を確保できます。

多くの安全を担う配水池

市内には7カ所の配水池があります。これらは各エリアに水を効率的に届けるだけでなく、災害時に重要な役割も果たします。常に一定量の水を貯めている配水池は、万が一の際、市民の約7日分の応急給水量を確保できます。

蛇口まで水を運ぶ水道管

浄水場でつくった水や、大阪広域水道企業団水を、市全体へ送っているのは地中に埋められた水道管や水管橋(写真下)です。市では、点検をしながら、古いものから更新と耐震化を進めています。



淀川にかかる水管橋

Q どんな設備で蛇口からの水を守っているの？

蛇口まで水を運ぶ水道管

浄水場でつくった水や、大阪広域水道企業団水を、市全体へ送っているのは地中に埋められた水道管や水管橋(写真下)です。市では、点検をしながら、古いものから更新と耐震化を進めています。